

【記載例】

令和6年度防衛基盤整備協会賞応募申込書

別紙「防衛基盤整備協会賞応募における個人情報のご提供に関する同意書」に同意の上、提出します。

企業団体 (企業)	団体名 (企業名)	企業団体(企業)欄は、表彰の際の案内になりますので正確に 公益〇〇工業株式会社	代表者
	所在地	〒162-XXXX 東京都新宿区四谷本塩町・・・ (電話 03-XXX-XXXX)	特機本部長 財団 太郎 (印不要)

業績題目	(独自の読み方や難読の場合は、ふりがなを付してください。) 〇〇装備への〇〇技術による〇〇改善
------	--

応募者(個人又はグループ) 表彰状の名前及び順番なります。			
氏名	ほうじん じろう 法人 次郎	ほうえい みつこ 防衛 三子	きばん しろう 基盤 四郎
	昭和50年7月7日生	昭和40年5月5日生	平成2年3月3日生
勤務先	特機事業本部 〇〇工場〇〇部	生産本部 生産技術開発センター	特機事業本部 品質管理部〇〇課
同上 所在地	〒5XX-XXXX 〇〇府・・・市・・・区	〒6XX-XXXX 〇〇県・・・市・・・町	〒5XX-XXXX 〇〇府・・・市・・・区
同上 電話	06-XXXX-XXXX	07X-XXX-XXXX	06-XXXX-XXXX
略歴	平成〇〇年〇〇工業(株) 入社(又は当社入社)	昭和〇〇年〇〇工業(株) 入社(又は当社入社)	平成〇〇年〇〇工業(株) 入社(又は当社入社)
現在の 役職	〇〇部〇〇課主査	〇〇部〇〇〇課長	〇〇部〇〇課課員

本件に関連して当協会から照会する場合の応募者の連絡先

勤務先 公益〇〇工業(株) 特機事業本部 〇〇工場
電話 06XX-XX-XXXX
FAX 06XX-XX-XXXX
メールアドレス goro.koueki@・・・
役職 〇〇課長
ご氏名 せいび ごろう
整備 吾郎

協会賞の贈呈式について当協会から連絡する場合の団体(企業)の連絡先

勤務先 公益〇〇工業(株) 特機営業本部 〇〇部
電話 03-XXXX-XXXX
FAX 03-XXXX-XXXX
メールアドレス rokuro.zaidan@・・・
役職 〇〇部長
ご氏名 きょうかい ろくろう
協会 六郎

推薦工業会	(一社) 日本防衛装備工業会
-------	----------------

業績及び応募理由の概要	<p>1 応募要領第2項で対象となる業績分野が（1）～（4）に該当する場合</p> <p>ア 自主的な技術（防衛装備品等に適用した企業固有の技術でソフトウェアを含む。）の概要</p> <p>イ 自主的な技術の開発履歴と防衛装備品等への適用の時期</p> <p>ウ それを適用した成果</p> <p>エ 研究開発あるいは生産技術の向上の独自性</p> <p>オ 研究開発あるいは生産技術の向上の手法性</p> <p>カ 研究開発あるいは生産技術等の向上の成果により期待できる性能等の向上の程度</p> <p>キ 生産技術等の具体的な向上の程度又は効率的な調達に寄与する内容</p> <p>ク 量産契約等年月日</p> <p>ケ その他特記したいこと</p> <p>※記入要領のア、イ、ウ及びクの記入は必須です。</p> <p>2 応募要領第2項で対象となる業績分野が（5）に該当する場合</p> <p>ア 対象となる特殊技術等が使用されている装備品の名称【必須】</p> <p>イ 対象となる特殊技術等の装備品等への導入状況・実績（複数件可）【必須】</p> <p>ウ 対象となる特殊技術等の代替困難性（独自性）【必須】</p> <p>エ 対象となる特殊技術等の優位性（類似品技術、製品等との比較）【必須】</p> <p>ク 対象となる特殊技術等を防衛装備品等へ適用する際、他に代替できる製品等が得られないと判断した理由（当該特殊技術等の優れた点、非代替性（輸入品を含め）、あるいは優位性等）</p> <p>※記入要領のア～エの記入は必須です。また、<u>主契約者と連名で応募する場合、主契約者はクを記入（必須）してください。</u></p>
業績の分野	<p>1. 機能・性能の向上</p> <p>② 保守、整備並びに運用等に関する効率化、省力化</p> <p>3. 使用目的に適合するとの評価が得られ又は目的とする成果が得られ採用</p> <p>④ 品質の向上、価格低減又は工期短縮</p> <p>5. 下請負、協力企業が保有する特殊技術等</p> <p>↑ (業務内容の該当する箇所を○印で囲んで下さい。複数回答可)</p>
特許の状況	<p>発明名称「○○・・・」</p> <p>公開中</p> <p>特開20XX-XXXXXX</p>
備考	

※文字サイズ、字間、行間は適宜変更してください。

「業績及び応募理由の概要（記入必須項目）」の記入（例）

1 応募要領第2項で対象となる業績分野が（1）～（4）に該当する場合

ア 自主的な技術（防衛装備品等に適用した企業固有の技術でソフトウェアを含む。）の概要

〈記入例〉

「弊社の〇〇技術をベースとした〇〇製品を利用し、・・・」もしくは
 「弊社の独自の〇〇技術を応用（伸展）し、・・・」
 何々を「開発した。」または「実現した。」等具体的な技術名とその結果を記入
 してください。

イ 自主的な技術の開発履歴と防衛装備品等への適用の時期

〈記入例〉

暦年ごとの経緯の記入もしくは表形式で時期的な記入をしてください。

平成〇〇年頃 弊社の〇〇技術として確立
 平成〇〇年 防衛省に〇〇装備に適用することを提案
 平成〇〇年 装備の試作品（またはその一部）として完成し評価及び修正
 令和〇〇年 〇式〇〇装置（またはその一部）として採用

〈表形式で記入する場合の例〉

項目 / 年	H25	26	27	28	29	30	R元	R2
〇〇の自社開発研究					▶			
防衛省提案～評価試験					▶	▶		
契約締結							○	
量産化								■

ウ それを適用した成果

〈記入例〉

「〇〇技術をベースにした研究開発により〇〇装備品の具体化、量産化にめどを
 つけた。特に〇〇、〇〇の実現に大きく寄与した。」
 もしくは、
 「〇〇の改善、〇〇の低減により高性能化と共に価格低減を実現した。」等
 その成果をしてください。

ク 量産契約等年月日

〈記入例〉 防衛装備庁調達事業部〇〇〇調達官（付調達第〇班）

契約品名：〇式〇〇装置

契約年月日（認証年月日）：令和〇年〇月〇日 調達数量：〇〇EA

2 応募要領第2項で対象となる業績分野が（5）に該当する場合

ア 対象となる特殊技術等が使用されている防衛装備品等の名称

〈記入例〉

〇〇式地对空誘導弾（平成〇年度契約分から採用）

イ 対象となる特殊技術等の防衛装備品等への導入状況・実績（複数件可）

〈記入例〉

〇〇式地对艦誘導弾（平成〇年度契約分から採用）

基地防空用誘導弾（平成〇年度契約分から採用）

ウ 対象となる特殊技術等の代替困難性（独自性）

〈記入例〉

装備品の要求性能を満足できるものは当該製品しか存在しない

エ 対象となる特殊技術等の優位性（類似品技術、製品等との比較）

〈記入例〉

〇国の△社に同等品があるが、品質、価格、調達の維持（サプライチェーンの観点）からも当該製品に優位性がある。

ク 対象となる特殊技術等を防衛装備品等へ適用する際、他に代替できる製品等が得られないと判断した理由（当該特殊技術等の優れた点、非代替性（輸入品を含め）、あるいは優位性等）

【主契約者と連名で応募する場合、主契約者はクを記入（必須）してください。
別紙可】

※ 必要に応じ、別紙（様式適宜）を使用し、詳細（写真、図画、参考資料による説明）を記入してください。